

● 本学の学生の、地元流山市・柏市での活動を紹介します。

地域での活動

第7回流山グリーンフェスティバル

今年で7回目を迎える「流山グリーンフェスティバル」が、平成24年4月30日（月・祝）から5月4日（金・祝）までの5日間、流山おおたかの森駅前で開催されました。これは、流山市が取り組むグリーンチェーン戦略による花と緑を活かした街づくりをPRし、人々の交流の場を作ろうと、毎年、ゴールデンウィークにあわせて開催されているものです。

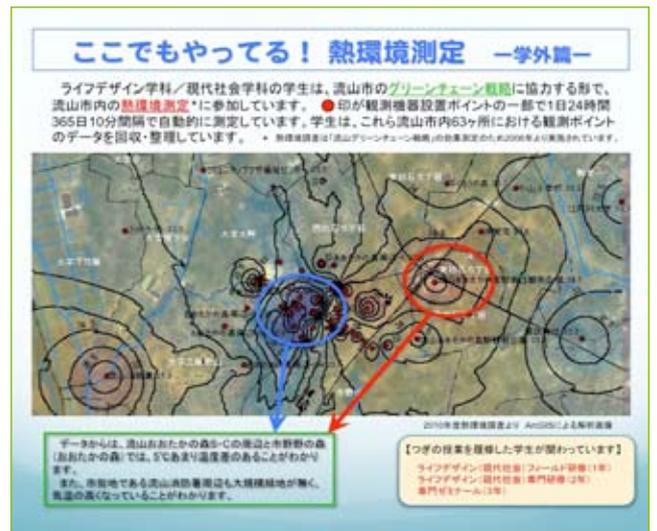
本学からは今年も、実行委員会のメンバーとして残間義和教授、恵小百合教授、土屋薫准教授、現代社会学科、マス・コミュニケーション学科、情報文化学科の学生が参加しています。

今年のフェスティバルテーマは「花と緑と暮らす」。毎年恒例の、エコネット愛好会による「大堀川の生き物展示」、現代社会学科による「クラフトブーケづくり」コーナーは人気を集め大盛況でした。この「クラフトブーケづくり」コーナーは、ドライフラワーで小さな花かごやブーケを作るもので、緑や花を暮らしのシーンに取り入れる生活スタイルの提案をしました。

また、地元のガーデニング愛好家の皆さんと協力して、会場中央を飾る花絵の「グリーンテリア」の制作や、TXつくばエクスプレス流山おおたかの森駅から広場への階段には虹の架け橋を描いた「グリーンステップ」の制作を行いました。地元流山市で住民の皆さんと交流するよい機会になっています。



グリーンテリアを市民の皆さんと一緒に制作中



完成したグリーンテリア



グリーンステップに人が憩う



夜の照明に照らされるグリーンステップ



江戸川大学の出展コーナー



生き物コーナーは子どもに人気



クラフトブーケづくりは大人も子どもも夢中

本学は流山市のグリーンチェーン戦略に協力し、熱環境調査を継続して実施し、市街地と森とでは気温に差があることなどのデータを明らかにしています。ご家庭でガーデニングを楽しむ方が増えれば市街地の気温を下げる事が期待されます。クラフトブーケ作りコーナーやグリーンテリアを初めとした企画は、市民の皆さんに緑を楽しみをお伝えし、まちの緑の連鎖を作ることを狙っています。